



ヨコハマ **想**い vol.83

心に花を

俳優
三上 真史さん
Mikami Masashi

1983年生まれ、新潟市出身。2006年、「轟轟戦隊ボウケンジャー」にボウケンブルー役で出演。以降、舞台、映画、テレビなどで幅広く活躍。2011年よりNHK Eテレ「趣味の園芸」のメインナビゲーターを務め、2021年4月からは「三上真史 ニッポン花づくし」コーナーを担当。2016年よりtvk「猫のひたいほどワイド」水曜MCを務める。2017年、「全国都市緑化よこはまフェア」広報親善大使、2018年、「横浜の花と緑をPRするアンバサダー」に就任。ガーデンコーディネーター、1級ファイナンシャル・プランニング技能士などの資格をもつ。好きな花はランキユラス。

TVの園芸番組で長年ナビゲーターを担当し、「園芸王子」として知られる三上真史さん。「横浜の花と緑をPRするアンバサダー」を務め、ガーデンデザインやさまざまなイベントを通じてその魅力を内外に発信している。園芸の楽しさを語る三上さんの声は、日々接する植物からもらったパワーで溢れていた。

ハナカイドウの木もありました。僕が生まれることをとても喜び、接ぎ木をして植えてくれたのです。残念ながら僕が生まれる前に祖父は亡くなりましたが、その木を見るたび、祖父の想いを感ずります。

常に植物が身近にあった環境で育ったので、東京の大学に進学すると、周囲に緑が少ないことに驚きました。緑に触れたいと、ベランダで植物を育てたり、近郊の花の名所を訪ねたりするようになりました。やっぱり、緑に触れていると元気になれるですね。芸能界に進んだ後も、ブログで園芸の魅力を紹介していたところ、NHK「趣味の園芸」のナビゲーターのお話をいただきました。新潟にいた頃、家族でよく見ていた番組だったので、本当に嬉しかったです。

＊横浜は第二のふるさと

アンバサダーのほかに、tvkの「猫のひたいほどワイド」という番組でMCをやっているのが、横浜を含め、神奈川を訪れる機会が増えました。第二のふるさとだと思っています。

横浜は、都会から自然豊かな里山まで、あらゆる場所が揃っていて素晴らしいですね。歴史ある街並みがあるかと思えば、里山ガーデンのような自然豊かな場所もある。何度来ても飽きない街です。

一番好きな場所は今はズーラシアですね。随所に休憩できる場所があって、里山ガーデンがあり、動物にも会える。広大な敷地を自然のまま存分に使っている点も最高です。先日も2歳になる子どもを連れて遊びに行きましたが、普段はすぐ抱っこを要求するのに、過去最長記録を更新するほど歩き続けました(笑)。

＊花は人の心を結びつける

昨年は新型コロナウイルスの影響で、家で過ごす時間が多くなり、園芸を始めた方もいらっしゃると思います。僕も周囲から質問されるが増えました。皆さん、植物のもつ癒しの力を改めて感じているのではないのでしょうか。

長年園芸に親しんできて、植物は人の心をつなぐものだと強く思います。ヨーロッパでは街に咲く花を見て見知らぬ人同士が言葉を交わす姿が当たり前。花があると自然と笑顔になりますよね。日本でももっと、花を通して人々が触れ合うようになったら素敵だなと思います。

今、子どもたちに植物と触れ合う機会をつくる「花育」という活動にも力を入れています。昨年は花の種を土の玉の中に埋めた「たねダンゴ」を市内の子どもたちと作りました。土に触れると、どの子どもも目を輝かせて熱中するんですよ。僕が園芸を通じて感じた豊かな世界を次の世代に伝えていきたいです。



ガーデンネックレス横浜2021
6月13日(日)まで

横浜駅から港の見える丘公園までのみなとエリアと里山ガーデンをメイン会場に、横浜市内を桜、チューリップ、バラなど季節の花々が彩る。街の景観と花の共演が楽しめるのが特徴だ。なかでも1万平方メートルの大花壇を中心とした「里山ガーデンフェスタ」(5月9日まで)と、市の花バラを楽しむ街歩きイベント「横浜ローズウィーク」(5月3日～6月13日)は特に注目。

ガーデンネックレス横浜

＊庭は訪れる度に表情が変わる

横浜の花と緑にかかわらせていただいて5年目に入りました。春と秋に行う「里山ガーデンフェスタ」ではウェルカムガーデンのデザイン監修にも、毎回携わっています。

どんな庭にしようか、毎回ワクワクしながらデザインするのですが、実際に植える時は想定外のことも多いんです。たとえば、用意していただいた苗が思ったより背が低いということはよくあります。そんな時は、実際の苗を活かせるよう、デザインのほうをアレンジ。これもガーデン作りの醍醐味です。

庭は作った時が完成ではありません。そこから植物が育っていき、日に日に違う姿に変化します。里山ガーデンも期間中どんどん変わっていきますので、何度も訪れて

いただくと、そのたびに違う美しさを体験できると思います。

花にも流行があり、毎年トレンドを取り入れるようにしていますが、今回のウェルカムガーデンには里の幸、すなわち、食べられる植物をポイントに加えました。エディブルフラワーといって、見て楽しめ、食べて栄養になる花も入っています。ガーデンに使用する花は、ほとんど横浜産のものを使っています。

＊緑に触れると元気になれる

新潟の実家には小さな庭があり、園芸好きだった母を小さい頃から手伝っていました。母はパンジーやビオラが好きでよく植えていましたね。庭は犬と遊ぶ場でもあったので、子どもの頃はいつも庭にいた気がします。また、庭には父方の祖父が植えた

4月18日(日) 東戸塚で相談会

相談会概要

- 日程 4月18日(日)
- 時間 ①9:30～ ②10:30～
③11:30～ ④12:30～
- 定員 各回先着1組
※完全予約制、参加費無料
- 相談員 梅澤忠税理士事務所
梅澤忠先生
- 会場 SSビル3階
JR東戸塚駅西口徒歩2分



■相談会のお申込み・お問い合わせ 積水ハウス(株)横浜支店

0120-307-341 10:00～17:00 (火水祝定休)

応募メール hello@sekisuihouse.co.jp

メール・WEBのみ24時間無休での受付

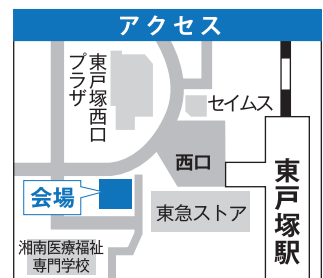
※応募者の個人情報は、相談会運営と今後の案内に利用します。

税理士に聞ける! 「相続の無料個別相談会」開催

将来心配な相続税「空き家を売却したい」「実家に親が一人で住んでいる」…今後の対策は

こんな人は相談してみませんか

- 実家の土地や空き家の活用法を考えたい
- 相続対策は何かから始めれば?
- 小規模宅地の特例って?
- 資産の整理に悩んでいる



人口の4人に1人が65歳以上の高齢化社会を迎えた日本。どの家庭にも必ずやってくるのが相続の問題。日本では相続の多くを占めるのが不動産だそう。相続した不動産は大きな資産となりますが、平成27年1月に相続税法が改正され、相続税の大増税時代が始まりました。税制改正前であれば相続税がかからなかった方も、対策が必要になるなど、相続の話はもう他人事ではありません。

相続対策は長期的な視点に加え、社会情勢の考慮も必要です。つい先延ばしにしまい、いざ相続が起こってから慌てて対応しても、思い通りにいかず後悔するケースも。早めの対策が肝心です。

また、相続対策を考える上で、遠方の実家や、賃貸住宅・月極駐車場などの資産をどのように活用していくか悩んでいる人も多いのでは。「今の景気で活用しても大丈夫?」「急いで売った方がいいのかしら…」「実家が空き家になっているけどどうすれば」など、浮かんでくる様々な疑問や不安…専門家に具体的な相談をしてみませんか?

積水ハウスでは、経験豊富な税理士を招き、個別相談会を開催。少しでも気になること、不安なことがある方はこの機会に参加してみても。お申し込みは電話、WEB、メールから。メールはお名前・ご住所・お電話番号・希望時間を明記の上、お申し込みください。